

齋賀医院壁新聞

文献情報と医院案内 齋賀医院ホームページに戻る場合戻るボタンをおしてください

検索ボックス

<< 2022年10月 >>

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

最近の記事

- (10/15)乳幼児の発熱管理
- (10/14)マダニによる日本紅斑熱が市原で発生
- (10/12)副腎偶発腫瘍 (incidentaloma) の発生頻度
- (10/08)小児のLong COVIDに対するガイドライン
- (10/07)新しい血糖降下薬のコストパフォーマンス

最近のコメント

- 副腎偶発腫瘍 (incidentaloma) の発生頻度 by (10/14)
- ネット情報・8月5日 by (08/06)
- オミクロン株の変異の猛威 by (07/21)
- オミクロン株でクルーズ症候群は起きるのです。その2 by (06/06)
- 糖尿病治療薬GLP-1作動薬と胆嚢疾患 by (04/26)

タグクラウド

カテゴリ

- 小児科(227)
- 循環器(253)
- 消化器・PPI(148)
- 感染症・衛生(283)
- 糖尿病(132)
- 喘息・呼吸器・アレルギー(102)
- インフルエンザ(108)
- 肝臓・肝炎(62)
- 薬・抗生剤・サプリメント・栄養指導(51)

<< [オミクロン株の変異の猛威](#) | [TOP](#) | [3剤配合吸入薬 \(ステロイド+LABA+LAMA\) の有用性](#) >>

2022年07月22日

心不全治療薬のエンレストは万能薬か？

心不全治療薬のエンレストは万能薬か？

Tolerability of Sacubitril/Valsartan in Patients With Advanced Heart Failure



新しい心不全治療薬のエンレストを使用しないと、バスに乗り遅れた古い医者とレットルを貼られないかと勘繰ったりしていましたが、エンレストは万能薬でなく注意して処方すべきとの論文がJACCに掲載されています。

- 1) 本研究はLIFE研究と命名されています。対象は心駆出率低下のあるNYHA分類のIVです。エンレスト50mgの2回/日処方3~7日(平均6日)の導入期間で開始しています。登録者は455名で24週経過観察としましたが、コロナに影響で12週の405名となっています。エンレストとバルサルタン(ディオバン)を比較しています。
- 2) 心不全のバイオマーカーのBNPはエンレストとACE阻害薬/ARB(バルサルタン)とで差がありませんでした。
- 3) 本論文の趣旨である導入失敗(忍容性)に関しては、
 - ・血圧90以下
 - ・血圧90以上でもめまい
 - ・腎機能低下
 - ・高カリウム血症
 - ・薬物アレルギーです。

Reason	Number
Systolic arterial blood pressure <90 mm Hg with symptoms of hypotension	23
Systolic arterial blood pressure <90 mm Hg without symptoms of hypotension	20
Symptoms of hypotension/dizziness with systolic arterial blood pressure >90 mm Hg	14
Renal dysfunction (creatinine >2 mg/dL)	9
Hyperkalemia	2
Possible allergic reaction or rash	5
Other	7

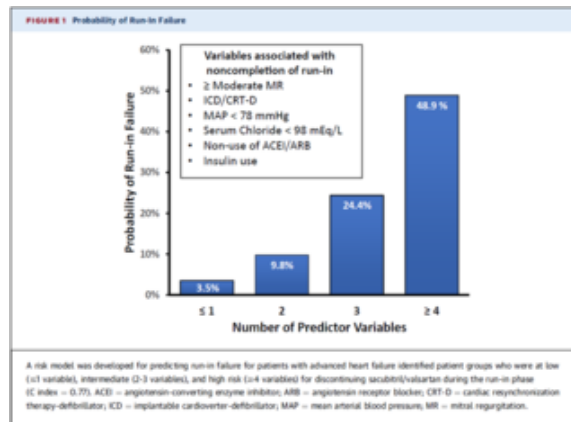
^aMultiple reasons may be selected for one subject discontinuation.

脳・神経・精神・睡眠障害(47)
 整形外科・痛風・高尿酸血症(33)
 フクチン(79)
 癌関係(11)
 脂質異常(29)
 甲状腺・内分泌(20)
 婦人科(12)
 泌尿器・腎臓・前立腺(41)
 熱中症(7)
 日記(24)
 その他(81)

過去ログ

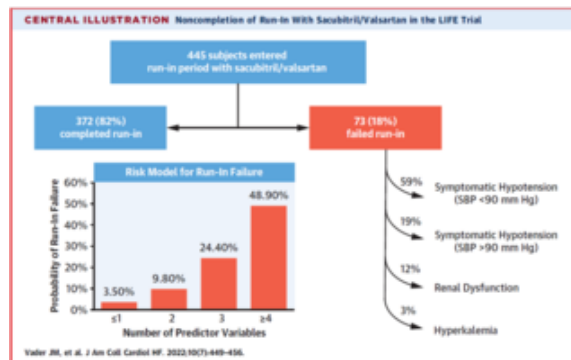
2022年10月(7)
 2022年09月(13)
 2022年08月(17)
 2022年07月(13)
 2022年06月(15)
 2022年05月(15)
 2022年04月(14)
 2022年03月(15)
 2022年02月(14)
 2022年01月(16)
 2021年12月(14)
 2021年11月(17)
 2021年10月(17)
 2021年09月(13)
 2021年08月(16)
 2021年07月(12)
 2021年06月(16)
 2021年05月(16)
 2021年04月(14)
 2021年03月(18)
 2021年02月(19)
 2021年01月(16)
 2020年12月(17)
 2020年11月(15)
 2020年10月(17)
 2020年09月(19)
 2020年08月(14)
 2020年07月(17)
 2020年06月(14)
 2020年05月(21)
 2020年04月(18)
 2020年03月(18)
 2020年02月(18)
 2020年01月(19)
 2019年12月(14)
 2019年11月(15)
 2019年10月(18)
 2019年09月(18)
 2019年08月(14)
 2019年07月(14)
 2019年06月(16)
 2019年05月(14)
 2019年04月(18)
 2019年03月(19)
 2019年02月(19)
 2019年01月(15)
 2018年12月(16)
 2018年11月(20)
 2018年10月(20)
 2018年09月(18)
 以降はカテゴリーで検索してください。

- 4) 導入時の忍容性の予測因子は
- ・心臓の構造変化(リモデリング)として中等度の僧帽弁閉鎖不全
 - ・心臓内のデバイスがあります。
 - ・平均血圧の低下
 - ・電解質異常
 - ・導入前にACE阻害薬/ARBの未使用
 - ・インスリン使用(自律神経障害が関与)が挙げられます。



上記の因子が増えるごとに導入失敗が増します。

- 5) 結論としては下記のグラフとなります。



- 6) 以前の研究PARADIGM-HFではエンレストにより心不全の入院率を20%削減できています。
- PARADIGM-HF研究では4~6週間の導入期間を設けて二つのフェーズで実施され、しかもエンレストを漸増しています。つまり導入失敗例は自ずから除かれる結果となっています。
- 本LIFE研究では実際の臨床の場に則したセッチングとなっています。

私見)

以前の心不全のブログでも紹介しましたが、第一選択はSGLT-2阻害薬です。エンレストは駆出率の保たれている心不全(HFpEF)には効果を認めていません。またエンレストは高血圧にも適応が認められていますが、導入時には本論文の示唆に従い、先ずACE阻害薬/ARBに忍容性があること、心エコーで弁膜症がない事、インスリンをしていない事、電解質のチェックを確認してからの導入となります。

[Tolerability of Sacubitril_Valsarta.pdf](#)

0

いいね!

ツイート

ブックマーク

【循環器の最新記事】

[心血管疾患の二次予防における配合剤の戦略..](#)

[降圧薬の服用は朝か就寝前か](#)

[痛風発作は心血管疾患の予兆](#)

[ブルガダ症候群・Brugada症候群](#)

[駆出率の保たれている心不全には塩分制限は..](#)

posted by 斎賀一 at 21:08 | [循環器](#)

